



大分市立
鴛野小学校
学校だより

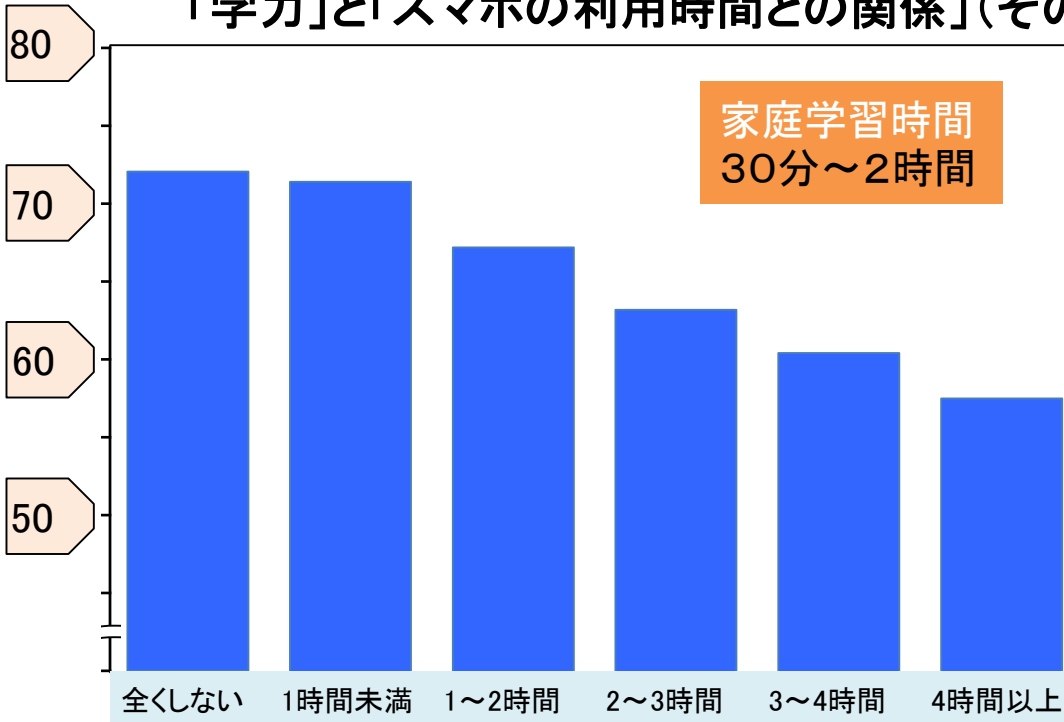
鴛野小通信

令和3年
2月25日(木)
NO. 40
発行者: 板井勝博



「学力」と「スマホの利用時間との関係」(その1)

平均点(数学)



家庭学習時間
30分~2時間

2020年度
鴛野小学校
保護者会
資料

* 左のグラフは
2019年2月19日
放送のNHK「ク
ローズアップ現
代」より引用。
調査は東北大
学の川島隆太
教授による。

1日のスマホ利用時間

東北大学の川島隆太教授は仙台市の市立中学に通う全生徒に1日のスマホ利用時間をアンケート調査し、22390人のデータを解析しました。その使用時間と仙台市の標準学力調査の関係を表したのが上のグラフです。ご覧のようにスマホを使う時間が長ければ長いほど平均点は下がっています。

川島教授は、これらの調査によって見えてきたことを次のようにまとめています。

- ・長時間携帯やスマホを使用する生徒の学力は低い。
- ・携帯やスマホの使用による家庭学習時間の減少が、直接学力低下の原因となっている可能性は低い。
- ・自宅学習をほぼ行っておらず、かつ携帯・スマホ使用時間の長い生徒たちの成績が低くなっていることから推測すると、学校での学習に悪影響を与える何かが生徒の脳に生じた可能性がある。

*PRESIDENT Online 2018.3.29より引用

この「鴛野小通信」を書き始めたのは24日午後10時。明日25日から保護者会が始まります。(6年生だけは2月18日に終了)「携帯・スマホの適切な使い方」について毎回保護者会に学校から情報提供してきました。何とか明日までにまとめなければなりません。急がねば!

さて、ネットで調べた信頼できる情報をもとにここまで書きましたが、ネット情報だけではなんとも心もとないかぎり。きちんとした資料がほしいものです。そこで川島教授の著書『スマホが脳を「破壊」する』の電子書籍を購入。夜中でも本が買えるなんて便利です。同書の前書きから引用します。

最初に結論を記しておきます。

スマホの過度の使用は学力だけでなく、子ども達の人生そのものを破壊する可能性があります。さらには、大人達の脳にも深刻な悪影響を与えている可能性が否定できません。

次号でより詳しくお伝えします。裏面は今回お休みです。(24日午後11時30分)